【部会活動報告-近現代史ゼミ部会】

フィールドワーク — 榛名山麓をめぐる旅 2018 年 9 月 26 日 (水)

雨が降りそうで降らない幸運な一日。今回の参加は 28 名。解説は、歴教協の岩根承成さんと久保田順一さん、近現代史ゼミ講師の内藤真治さんが担当しました。

1、群馬県埋蔵文化財調査事業団・発掘情 報館(渋川市北橘町)

2012年に発見された「甲(よろい)を着た 古墳人」、その甲と人骨は分離、整理されて実 物が展示されていました。今後は展示する予 定はないそうで、貴重な特別展だったという ことになりそうです。担当の方が熱心に解説 してくれました。特に興味深かったのは、頭 蓋骨の形状分析から渡来人の顔の特徴をもっ ていたこと、歯根のストロンチウム同位体比 分析から利根川水系の水で成長したのではな いこと、たぶん伊那谷から岐阜にかけての地 域から移住してきたのではないかということ。 科学でそこまで解明できるとは感動的です。 今まで技術者の集団として渡来系の人たちが 活躍していたことは知られていましたが、こ の人物は持っていた武器・武具等からリーダ ーとしてこの地域を統括していた人のようで、 このような人物が遠隔地から急に移動してき てこの地のオサになるということは、この時 代の政治が地域ごとのものではなく、中央の



大きな権力が関係するものだったと考えられるとのことでした。榛名山が噴火していた 6世紀、この時代に生きた群馬の人々の生活が身近なものに感じられました。

2、陸軍相馬ケ原演習場跡(現・陸上自衛 隊相馬ケ原駐屯地)(秦東村)



手前の二連の八角形が友魂記念館 奥の平屋が桜武記念館

桜武記念館は陸上自衛隊相馬ケ原駐屯地の 史料館で、その歴史や活動状況、武器、「岩佐 中佐」など旧陸海軍の県内の戦没者の資料が 展示されていました。また、高崎歩兵第 15 連隊のコーナーでは日露戦争の『陣中日誌』 の実物もありました。(『新編高崎市史・補遺 資料編』に収録されています。)

友魂記念館は旧前橋陸軍予備士官学校 (1941~45)の記念館で、この学校出身の戦 没者の写真や遺品が展示されていました。敷 地内には今も士官学校時代の古い建物が残さ れているとのことでした。

岩根さんが、バスに戻った後で解説したことを補足しておきます。厚労省の調査報告書によれば、この士官学校でも毒ガスを使用した訓練が行われていたこと、敗戦直後、士官学校のガス庫にあったガス弾を相馬ケ原演習地に埋設したということです。

3、憲兵だった大沢雄吉さんの謝罪碑

(吉岡町)

『憲兵だった父 の遺したもの』(高文

行為は申し訳なく、只管お詫び申し上げます。 西省、臨汾、運城、旧満州、東寧、等の憲兵隊に西省、臨汾、運城、旧満州、東寧、等の憲兵隊に四軍隊勤務十二年ハヶ月、其間十年、在中国陸軍

北群馬郡吉岡町南下所在

研・倉橋綾子著) に、父の足跡を訪ねて中国 を旅したことなどが書かれています。

4、喜の蔵本店(昼食)・北谷遺跡(国指定 史跡)(高崎市冷水町)

北谷遺跡は5世紀末に築造された豪族居館跡です。南の染谷川、北の弁天谷を利用し、東西に堀を造って一辺90メートルの方形の台地、外縁は石積が施され、各所に張り出しが設けられています。北側の弁天谷側から見ると地形がよくわかります。1500年以上前の地形がよく残されたものだと思います。ここの住人も「金井東裏遺跡の古墳人」と同じように、6世紀の榛名山の噴火を体験したのでしょう。

5、陸軍前橋飛行場跡(高崎市棟高町ほか)

今はイオンモール高崎の南の住宅地と東南に広がる水田地帯。この一帯が1944~45年、前橋飛行場(地元では堤ケ岡飛行場)となり、飛行訓練が行われました。特攻隊の訓練も行われ、ここから九州の新田原や知覧に移動

後、沖縄方面に出撃していきました。現在 はわずかな痕跡しか残っていませんが、第 36飛行隊・岡部三郎伍長機の話など、内藤 さんの解説で当時の様子を鮮やかにイメー ジすることができました。

6、**箕輪城跡**(国指定史跡・高崎市箕郷町)



一昨年、復元された西虎口門

解説は久保田さん。まず、長野氏によって築かれた城という説明は少し違うとの指摘。16世紀初頭に長野氏が築城したころの箕輪城は今の箕輪城跡の数分の一の規模をあり、今見る城跡とは全く異なるもののあり、今見る城跡とは全く異なるものでとなった井伊直政の時に、いうことでした。井伊直政(1561~1602)は徳川との東の有力家臣で、箕輪城は豊臣側との戦いを想定して改築されたもの。それは堀のでとが城郭の構造に表れています。豊臣との戦いの心配がなくなった1598年、井伊直政は城を高崎に移し、箕輪城は廃城となりました。

《文責・設楽春樹》



箕輪城跡碑の前に集合した参加者